

第18回 日本フットボールリーグ

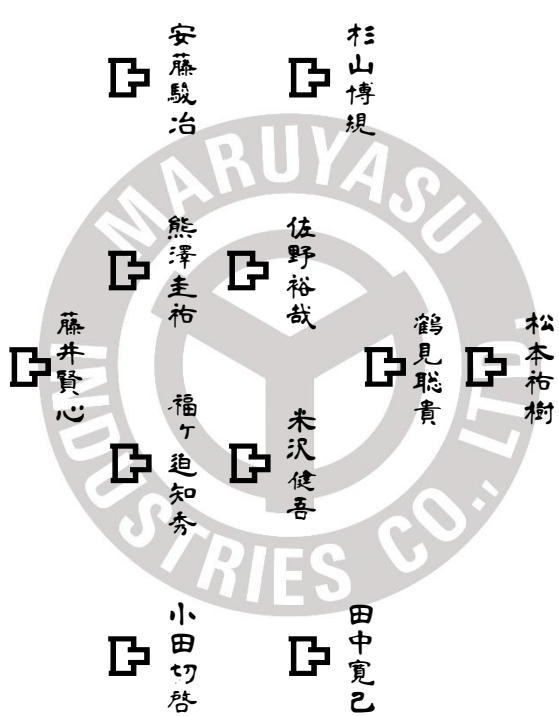
ファーストステージ 第8節

対 ファジアーノ岡山ネクスト 戦

於 豊田市運動公園陸上競技場

予想布陣図 屏風 (FCマルヤス岡崎蔵)

ファジアーノ岡山ネクスト 監督 牧内 辰也
1st IS 16位(勝点0) 「本拠地」備前国 岡山市



J2 岡山の下部組織として活動するファジアーノ岡山ネクスト。JFLというリーグの多様性を象徴するクラブである。チーム全体の登録人数こそ少ないが、その多くを若い選手が占める。かつてトップチームも戦ったこの舞台で、未来ある才能がどのような戦いぶりを見せるのか注目だ。

サッカーを楽しもう

2 試合連続で完封負けを喫したFCマルヤス岡崎。しかし前節ではシュート数で相手を上回り、得点の香りを漂わせた。奮闘する守備陣のためにも、今日こそは得点と勝利が欲しい。対するファジアーノ岡山ネクストはここまで全敗。だが、その分勝利への欲望は誰よりも強いはず。失うものない立場と恐れを知らぬ若さは、対戦相手にとって最も脅威である。

下位に沈む両者の対決。そこに華麗で鮮烈な風景はないかもしれない。けれど、今日はサッカーを楽しむ。傷ついた人を助けるため、明日への英気を養おう。その力こそが、希望へとつながってゆくのだから。

[今節のホールパーソン]東海学園高校サッカー部の皆様
試合運営へのご協力、誠にありがとうございます。

林原美術館と結城秀康

岡山市の観光名所、林原美術館。株式会社林原が所蔵していた古美術品や、岡山藩主である池田家伝来の品が多く展示されている。とりわけ能や狂言に使用された装束、国宝に指定されている刀剣三点などが名高いが、特徴はそれだけではない。

実はこの林原美術館、国内では唯一現存する「平家物語の完本」を収蔵している。そしてこの完本は越前松平家伝来、つまり徳川家康とつながりのある収蔵品なのである。

越前松平家の宗家初代は結城秀康。家康公の次男にありながら、長く不遇の時を過ごした悲運の武将だ。幼少時代から実父の家康に冷遇されていた秀康は、豊臣秀吉の命により関東の名族結城家の婿養子となる。文武にも人柄にも優れた秀康だったが、彼が正当な評価を与えられたのは関ヶ原の戦い以後。下総結城から越前北之庄へ移封となり、50万石を超える加封を得た。いよいよ飛躍の時を迎えたかに思われたが、そのわずか5年後に病死。享年34歳。短くも波瀾万丈に満ちた人生に幕を下ろした。秀康が祖となった越前松平家は、江戸幕府において徳川御三家とは別格の「制外の家」とされた。彼の子孫が守り抜いた宝物は、越前から遠く離れた岡山の地で、ひっそりと力強く輝いている。

今節のイベント紹介

【キッチンカーRoute 18
ホームゲーム初出店】

岡崎市の18 CAFEから、キッチンカーのRoute 18が初出店。同店発祥のフレンチブリュレをご賞味あれ。出店時間は11時から15時を予定しています。

【和太鼓チーム「音鼓」
演奏披露】

岡崎市で活動する和太鼓チーム「音鼓」の皆さんが伝統の音色で彩りを添えます。12時40分からピッチサイドに登場です。

【選手と遊ぼう企画】

今回はじゃんけん対決。マルヤスの3人の選手、またの名は「じゃんけん3兄弟」です。彼らに勝てば豪華賞品をプレゼント。12時から試合開始直前まで、グッズ売り場付近で開催予定です。

本日のお知らせ

熊本地震で被災された大分、熊本の復興支援のため、本日は試合会場で募金活動を行います。かつてはアルエット熊本とロッソ熊本（現ロアッソ熊本）がJFLに参戦し、現在ではヴェルスパ大分が私たちと共にJFLを戦っています。ご賛同を頂ければ幸いです。

次回主催試合 平成二十八年五月三日
対 栃木ウーヴァFC 戦

於 豊橋市岩田総合球技場



制作・文責
スタジオム
母子芸人
イケザえもん

一粒であなたを守る

賢心

第二類医薬品

藤井模範堂



カテキン1000mg配合！

グマザワ A

熊のマークの大勝薬品

蹴球商店

SANO



twitter
ikezaemon01